

5-1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進

基本施策 5-1-1 多様な観光交流の推進

		主担当	産業振興部
511	歴史・文化や美しい自然などの観光資源と、オリンピック開催で得た資産をいかして観光交流を推進し、賑わいと活力ある観光・コンベンション都市“ながの”を目指します。		
	指標項目	現状値（H18）	目標値（H23）
自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりがおこなわれている			

現況と課題

国内外で観光客誘致が競われており、地域の活性化に向けて観光の地域ブランドを戦略的に作っていく必要があります。

合併による新たな観光資源の増加や観光客のニーズ多様化等を背景に、地域性をいかしながら、訪れる人の視点に立つ資源活用の方策が必要です。

メディアや電子情報などで多様な観光情報があふれる中、インターネットでの利用しやすい情報提供や、伝えたい相手にアピールできる適切な情報発信が必要です。

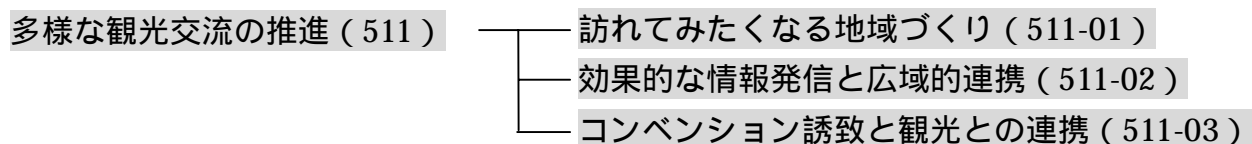
市内には収容能力豊富な会議・宿泊施設が整備されており、一層の活用のために様々なコンベンションを継続して誘致・開催していく必要があります。

図表

（市内の観光地利用客数の推移）

（ビューローが支援・誘致したコンベンションの開催団体数と参加者数）

施策の体系



施 策		主担当	観光課
511-01	訪れてみたくなる地域づくり		
施策の目標	観光ブランドの確立や滞在・周年型観光 <sup>1</sup> 、体感型観光 <sup>2</sup> の推進など、地域の資源をいかした魅力づくりと心通うおもてなしにより、観光客が繰り返し訪れてみたくなる地域づくりを目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
市内の年間観光地利用者数		940 万人	1,200 万人

### 【主な取組】

地域住民や観光関連事業者などと行政の協働により、歴史・文化や自然などの地域資源を活用した地域ブランドの創造・確立を推進します。(観光課)

7地域(善光寺・松代・飯綱・戸隠・鬼無里・豊野・大岡)をモデル地域とし、年次計画による集中的な事業展開を図るとともに、地域ごとの成功事例を共有化し、他地域にも活かせるように取り組みます。(観光課)

滞在型・周年型観光や体感型観光への転換に向け、産業観光<sup>3</sup>や自然体験、地場産品や食のメニュー開発、団塊の世代を意識した取組など、多様な観光ニーズに対応する観光ルートやプログラムづくりを進めます。(観光課)

分かりやすい案内表示や駐車場情報の提供など観光客の受入体制を整備・充実するとともに、おもてなしの心あふれるまちづくりと人づくりを推進します。(観光課)

施 策		主担当	観光課
511-02	効果的な情報発信と広域的連携		
施策の目標	“ながの”の魅力を伝える情報発信・情報提供、北信濃の広域的な回遊観光の提案などにより、効果的で訴求力のある誘客を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
北信地域全体の年間観光客数		2,373 万人 (H16)	2,847 万人
観光ホームページへの年間アクセス数		117 万件	170 万件

### 【主な取組】

(財)ながの観光コンベンションビューロー等と連携し、インターネットやホームページによる旅行関連情報の提供機能を強化します。また、プロモーションやイベントを活用し、地域ブランドを発信します。(観光課)

北信地域の自治体や事業者等と連携し、北信濃の広域観光ルート形成による誘客を推進します。また、川中島の戦いや真田氏など歴史や文化を介した「縁」のある都市との連携を図ります。(観光課)

アジア圏をはじめ海外への情報発信や外国語による案内の充実など、外国人観光客誘致に向けた事業展開を図ります。(観光課、施策 451-02 関連)

観光関連事業者等への情報提供や定期的な情報交換などを通じ、情報を共有化し魅力ある商品づくりを促進します。(観光課)

施 策		主担当	観光課
511-03	コンベンション <sup>4</sup> の誘致と観光との連携		
施策の目標	オリンピック開催都市の知名度と競技・宿泊施設等の資産をいかして多様なコンベンションを誘致・開催し、観光と連携を図りながら、経済や産業への幅広い寄与を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
誘致・支援するコンベンションの年間参加者数		174,194 人	210,000 人

#### 【主な取組】

(財)ながの観光コンベンションビューロー等と連携し、会議や学会など国内外のコンベンションの誘致・開催を積極的に支援します。(観光課)

オリンピック、パラリンピック、スペシャルオリンピックス開催の資産をいかし、スポーツの国際大会や全国大会等のスポーツコンベンションを誘致・開催します。(体育課、施策 441-02 関連)

スポーツやイベント、コンベンションなどで、オリンピック施設の有効活用を図ります。(観光課、体育課、施策 441-03 関連)

ながのフィルムコミッション<sup>5</sup>の活動による市内での映画やドラマの撮影支援を通じ、映像による知名度向上や誘客を図ります。(観光課)

## 5-2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化

### 基本施策

### 5-2-1 未来に向けた農業の再生・振興

主担当

産業振興部

521	農業の重要性を食料生産や土地利用の面から評価し、経営の強化や生産性・付加価値の向上等を通じて地域農業の再生・振興を目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
競争力があり価値が高い農産物が生産されている			

#### 現況と課題

農業者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加しており、農業を支える仕組みづくりや担い手の育成が必要です。

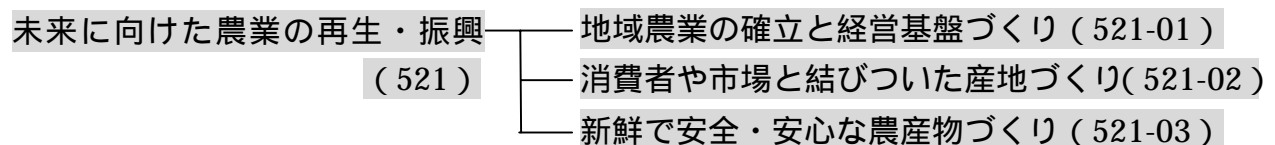
農業経営が収益面でも厳しい中、付加価値や収益性の高い農業生産への転換が必要です。

食の安全に対する関心が高まる中、安全な農産物供給や環境に配慮した農業の取組が必要です。

#### 図表

( 総農家数・経営耕地総面積・耕作放棄地の推移 )

#### 施策の体系



施 策		主担当	農政課
521-01	地域農業の確立と経営基盤づくり		
施策の目標	地域全体で効率的・集約的に農業を支える仕組みづくりを行い、農業の経営基盤の強化と農地の保全・活用を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
認定農業者数		217 人	260 人
新規就農者数 (累計)		14 人	75 人
遊休農地を農地に復元した面積(累計)		29.2 ha	70 ha

### 【主な取組】

認定農業者<sup>6</sup>や農業法人など、意欲ある多様な担い手の育成・確保を図ります。また、農作業や機械の共同化、集落営農の組織化などを支援し、地域全体で農業を支える取組を推進します。(農政課、農業委員会事務局)

農業公社など地域農業の支援体制を整備し、集落営農や農業の安定経営を支援します。(農政課)

農業の担い手への農地の利用集積などにより優良農地の保全を図るとともに、作付け奨励や市民農園等により農地を有効活用し、耕作放棄地の発生防止、解消に努めます。(農政課、農業委員会事務局、施策 212-01 関連)

農道、ほ場、かんがい施設等の農業生産基盤の整備を図るとともに、河川の排水機場(ポンプ場)の整備により農地や流域内の内水被害を防止します。(農業土木課)

施 策		主担当	農政課
521-02	消費者や市場と結びついた産地づくり		
施策の目標	“ながの”発の商品性の高い農産物の生産を促進し、消費者や市場にアピールできる付加価値型の農業生産を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
小麦、大豆、そばの栽培面積		109 ha	170 ha
奨励果樹の栽培面積		186ha (H16)	204 ha

### 【主な取組】

地域特性をいかした農畜産物の産地化やブランド化を推進するとともに、情報発信やPRにより消費者や市場への浸透を図ります。(農政課)

小麦・大豆・そばの生産拡大を図り、おやき・そば・豆腐・味噌など食品の加工や販売と連携しながら、地域の食文化を発信する特色ある産地化を推進します。(農政課)

付加価値の高い産地づくりに向けて、先進技術や新品種の導入、農業生産の近代化・合理化を促進します。(農政課)

施 策		主担当	農政課
521-03	新鮮で安全・安心な農産物づくり		
施策の目標	減農薬や有機資源の活用による循環型農業 <sup>7</sup> の推進を図るとともに、地元農産物の地域内流通量を高め、新鮮で安全・安心な農産物の供給を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
地産地消協力店の登録数		23 店	100 店
環境にやさしい農業の取組農家数		3,537 戸	4,100 戸

**【主な取組】**

減農薬や減化学肥料など、環境にやさしい農業の取組を支援し、安全・安心な農産物の生産を促進します。(農政課)

市民や事業者との協働により「地産地消<sup>8</sup>」の取組を積極的に推進し、新鮮な地元農産物の地域内流通と消費の拡大を図ります。(農政課)

安全・安心な農産物を消費者に分かりやすくPRするとともに、その情報発信・情報提供を促進します。(農政課)

果樹剪定枝や生ごみ、きのこ廃培土等の有機資源(バイオマス)を利活用した堆肥づくりなど、循環型農業を推進します。(農政課、施策 221-04 関連)

**基本施策****5-2-2 中山間地域の活性化**

主担当

産業振興部

522	中山間地域の産業を振興し、独自の魅力をいかすことで、いきいきと元気な中山間地域づくりを目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりがおこなわれている			

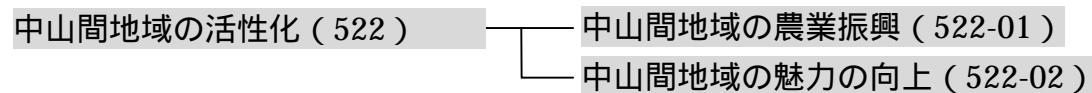
**現況と課題**

中山間地域は生活・産業面の条件が厳しく、高齢化や人口減少による荒廃農地が増加しており、国土保全の面からも地域の生産活動を支援していく必要があります。

地域の活力が低下する中、自然環境や地域の素材をいかした地域活性化の取組が必要です。

**図表**

(中山間地域の耕作放棄地の推移)

**施策の体系**

施 策		主担当	農政課
522-01	中山間地域の農業振興		
施策の目標	中山間地域の農産物や特産品の生産・販売などを支援し、持続的な生産活動の振興を目指すとともに、国土や水源の保全の面から耕作放棄地の発生を防止します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
中山間地域で遊休荒廃農地から農地に復元した面積 (累計)		23.2 ha	40 ha
振興作物導入面積(累計)		13.2 ha	15.3 ha

### 【主な取組】

中山間地域の農業と農村の活動を支援し、農地や集落の維持に加え、中山間地域が有する環境や防災等の多面的な機能の保持を図ります。(農政課、施策 212-01 関連)  
 中山間地域に適している山菜・ブルーベリー・そばなどの作物を導入し、畑作の振興を図るとともに、農産物の加工・販売や特産品の開発などにより、地域の特色をいかした産業の育成を支援します。(農政課)  
 サル・イノシシ・シカ・カラスなど、畑を荒らす有害鳥獣の被害防止に向けた対策を推進します。(農政課)

施 策		主担当	農政課
522-02	中山間地域の魅力の向上		
施策の目標	中山間地域の自然や農村環境などをいかした独自の魅力づくりや都市部との交流活動を支援し、中山間地域の魅力向上を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
中山間地域の農業体験への年間参加者数		15,016 人	18,600 人

### 【主な取組】

農業体験、山村生活体験、民泊を伴う修学旅行の受け入れなど、地域住民が主体となる都市農村交流の取組を推進するとともに、NPOやJA、旅行事業者との連携を図ります。(農政課、観光課)  
 田舎暮らしを志向する都市住民の移住や、年の一定期間だけ居住する二地域居住など、中山間地域での定住促進に向け、空き家の活用や情報提供に取り組みます。(農政課・企画課)



基本施策

5-2-3 豊かな森林づくりと林業の振興

主担当

産業振興部

523	環境や防災の面で多様な機能を有する広大な森林を守り、育てることにより、森林資源の持続的な保全と活用を目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
森林や山林資源の整備と有効活用がおこなわれている			

現況と課題

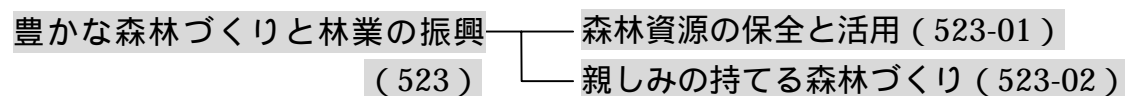
森林面積は市域の6割を占めており、国土保全や環境の面から適切な保全・管理が必要です。国産材の価格低下等により林業の担い手が減少しており、森林を保全・活用する仕組みづくりが課題となっています。

森林や林業は環境・防災・景観面で大きな役割を持ちながらも、日常生活では接する機会が少ないことから、市民の関心・理解を高めていく取組が必要です。

図表

(所有形態別森林面積)

施策の体系



施 策		主担当	森林整備課
523-01	森林資源の保全と活用		
施策の目標	間伐 <sup>10</sup> 等による森林整備や林業の再生・振興により、森林が長期にわたり健全に保全・活用されることを目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
間伐を実施した森林面積 (累計)		441 ha	3,185 ha

### 【主な取組】

間伐を促進し、計画的な森林整備を図るとともに、様々な樹種が混じる混交林<sup>11</sup>や天然林<sup>12</sup>の適切な育成など、多様性のある森林形成を進めます。(森林整備課、施策 212-01 関連)

森林整備の担い手確保に向け、森林ボランティア団体の育成を図ります。(森林整備課)

林業労働の効率化に向けて林内道路を整備するとともに、木材事業者等と連携して地域材の利活用を促進し、林業の活性化を図ります。(森林整備課)

松くい虫などの森林病虫害の被害防止対策を進めます。

クマやサルなどの野生鳥獣の計画的な保護管理を進め、人間と野生鳥獣との共存を図ります。(森林整備課)

施 策		主担当	森林整備課
523-02	親しみの持てる森林づくり		
施策の目標	森林学習や森林体験を通じて、多くの市民が森林に関心を持ち、親しみを持てるような森林づくりを目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
森林体験参加者数		186 人	400 人

### 【主な取組】

森林学習や意識啓発などにより、森林の重要性に対する市民理解を深め、意識の高揚を図ります。また、みどりの少年団活動などを通じ、子どもたちの森林学習を支援します。(森林整備課、施策 211-02 関連)

飯綱高原の「体験の森」を活用し、森林作業の体験等を通じて、森林や林業に対する親しみと理解を深める取組を進めます。(森林整備課)

善光寺三門の葺き替えなど、地域の文化財を守るための木材を地元で供給できるよう、二～三百年後を展望した「善光寺の森」づくりを市民と協働で進めます。

## 5-3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化

### 基本施策 5-3-1 産業の集積と工業の活性化

		主担当	産業振興部
531	ものづくり産業の基盤強化や先端産業の育成、企業の競争力向上等を支援し、特色ある産業の集積と工業の高付加価値化を目指します。		
	指標項目	現状値（H18）	目標値（H23）
地域に活気ある工業や製造業がある			

#### 現況と課題

産学行連携の拠点施設として「長野市ものづくり支援センター」が活動を開始しており、今後、関係機関や企業との連携など一層の活動強化が必要です。

知的クラスター創成事業<sup>13</sup>の成果を地域の新産業育成に結びつけることが期待されており、今後は地元企業への技術移転やそれらを核とした産業集積が必要です。

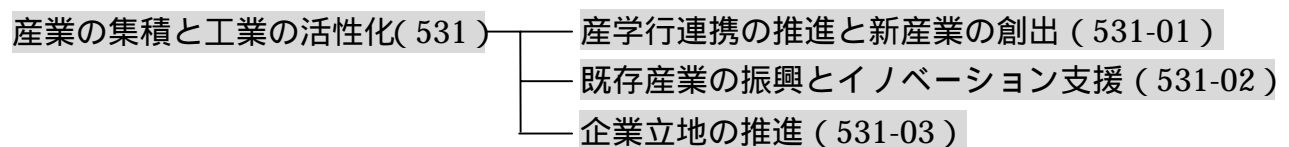
製造品出荷額や事業所数が減少する中、地域の産業競争力の底上げに向けた支援が必要です。今までに開発した産業団地等は概ね企業への分譲が完了しており、今後、新たな産業集積の方向付けと誘致・支援の実施が必要です。

#### 図表

（工業事業所数・製造品出荷額・粗付加価値額の推移）

（製造品出荷額の県内順位）

#### 施策の体系



施 策		主担当	商工振興課
531-01	産学行連携 <sup>14</sup> の推進と新産業の創出		
施策の目標	産学行連携による新技術の研究開発、製品の高付加価値化、新分野の開拓などを通じ、ものづくり産業の基盤の強化と新産業の創出・育成を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
大学等と共同で新技術、新製品の開発を行う件数 (累計)		3 件	27 件
ものづくり支援センターのレンタルラボ <sup>15</sup> に入居し、研究開発を行う企業数 (累計)		6 社 (H18)	16 社

### 【主な取組】

産業界・大学等の教育研究機関・公的試験研究機関・行政・金融機関などとの産学行連携を推進するとともに、企業とのコーディネート力や関係者相互を結ぶネットワークを強化します。(商工振興課)

研究開発拠点となる「長野市ものづくり支援センター」を活用し、製品の高付加価値化、起業や新分野開拓を支援します。(商工振興課)

大学等の研究機関の知的財産を活用し、地元企業への技術移転や新たな産業の集積を促進します。(商工振興課)

ナノテクノロジー<sup>16</sup>やバイオテクノロジー<sup>17</sup>等を基盤とする新産業の創出、育成に向けて調査・研究を進めます。(産業政策課、商工振興課)

施 策		主担当	商工振興課
531-02	既存産業の振興とイノベーション <sup>18</sup> 支援		
施策の目標	中小企業や地場産業の経営力・販売力の強化や経営革新を支援し、地域全体の産業競争力の向上を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
製造品出荷額		4,219 億円 (H16)	4,479 億円
産業フェアへの出展企業数		今後実施 (H18)	200 社

製造品出荷額の H16 現状値は合併町村分を含む

### 【主な取組】

企業の技術力向上、マーケティング<sup>19</sup>戦略強化などを支援するとともに、北信地

域での広域的な産業フェアを開催し、地域企業の技術や製品を内外に広くアピールします。(商工振興課)

制度資金の融資あっ旋などを通じ、中小企業の経営基盤の安定化と経営強化を支援します。(商工振興課)

商工業の指導体制の強化に向けて商工団体を支援するとともに、商工会議所と商工会の統合を促進します。(商工振興課)

長野らしさを感じられる特産品や特色ある製品など、地場産業の振興につながる「ものづくり」を進めるとともに、地域ブランドの育成と情報発信を推進します。(商工振興課)

施 策		主担当	商工振興課
531-03	企業立地の推進		
施策の目標	企業立地に向けた環境整備や積極的な誘致により、地域の産業集積の向上と地域経済や雇用の安定化を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
産業団地分譲による入居企業数 (累計)		147 社	159 社

#### 【主な取組】

企業活動に快適な環境での産業集積に向けて、産業団地の開発と分譲を促進するとともに、工場等の立地促進のための助成や空き団地・空き工場等の情報提供を行います。(商工振興課)

今後の産業動向を踏まえ、新たな産業団地の立地について調査・研究します。(商工振興課)

市街地や空きビルなどへの立地も視野に、都市型産業<sup>20</sup>を含む新たな企業や事業所の誘致を推進します。(産業政策課、商工振興課)

## 5-4 魅力と賑わいあふれる商業の振興

### 基本施策 5-4-1 力強い商業への転換

		主担当	産業振興部
541	消費者ニーズや時代の変化に対応できるよう、店舗や商店街の魅力と競争力を高め、市民や地域から支持される力強い商業への転換を目指します。		
	指標項目	現状値（H18）	目標値（H23）
個性的で魅力的なお店が増えている			

#### 現況と課題

長野地区中心市街地では、「ぱていお大門」や「トイゴ」など、新たな商業環境の整備が進んでおり、今後はソフト面を含め、商店街や市民を交えての一層の賑わいづくりが必要です。商業立地の郊外化などとともに商店街の活力が低下傾向にあり、やる気のある店舗やチャレンジする人を支援していく必要があります。

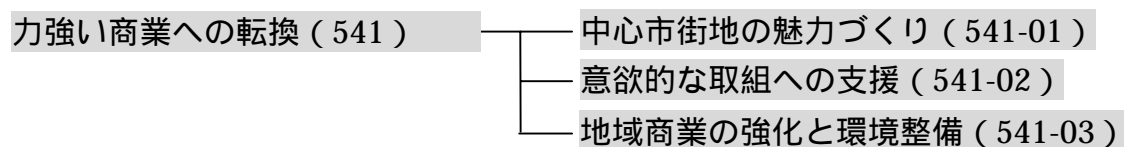
郊外店・コンビニエンスストア・通信販売など、販売形態や消費行動が多様化する中、地域特性や消費者ニーズを考慮した魅力的で個性的な地域商業に転換していく必要があります。

#### 図表

（卸・小売業の商店数と年間商品販売額の推移）

（中心市街地（長野地区）の歩行者通行量の推移（主な20地点の合計））

#### 施策の体系



施 策		主担当	商工振興課
541-01	中心市街地の魅力づくり		
施策の目標	市民・事業者・関係団体・行政の協働による活性化の取組や商業環境の整備等を通じ、中心市街地の魅力的な商空間づくりと賑わいの向上を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
中心市街地の歩行者通行量		301,866 人	350,000 人

**【主な取組】**(各取組とも施策 611-02 関連)

中心市街地の賑わいや魅力創出のための商業環境の整備を促進・支援します。(商工振興課)

多様な民間関係者が参画する中心市街地活性化協議会<sup>21</sup>等と協働で活性化の取組を進めます。(商工振興課)

市街地再開発や街並み整備など、中心市街地のまちづくりの動きと商業の一体的な取組により、賑わい創出と回遊性の向上を図ります。(商工振興課、まちづくり推進課)

施 策		主担当	商工振興課
541-02	意欲的な取組への支援		
施策の目標	創業やイベントなど、創造的・意欲的な人材や取組を支援し、商業を活性化する新しい息吹と活力の導入を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
新規起業者数 (累計)		351 人	650 人

**【主な取組】**

創業や空き店舗の活用など、意欲的な取組やチャレンジする人を積極的に支援します。(商工振興課)

市民と商店街が一体で盛り上げる地域づくりイベントや、内外からの大きな集客や賑わいにつながる独創的・効果的なイベントを支援します。(商工振興課)

商店街のリーダーや活性化に取り組む人材を育成・支援します。(商工振興課)

施 策		主担当	商工振興課
541-03	地域商業の強化と環境整備		
施策の目標	地域の商店・商店街の経営力強化や商業環境の整備を支援し、地域と密着した利便性の高い商業の展開を目指します。		
指 標 項 目		現状値	目標値 (H23)
年間商品販売額 (小売業、卸売業)		1兆8,836億円 (H16)	1兆8,888億円

H16 現状値は合併町村分を含む

### 【主な取組】

商店街の環境整備など地域と密着した商店街づくりを支援します。(商工振興課)  
ホームページやマップの作成など、商店や商店街の情報発信、販売力強化、郊外大型店との差別化に向けた取組を支援するとともに、商工団体等と連携し、商店の経営革新を支援します。(商工振興課)

制度資金の融資あっ旋などを通じ、中小商店の経営基盤の安定化と経営強化を支援します。(商工振興課)

商工業の指導体制の強化に向けて商工団体を支援するとともに、商工会議所と商工会の統合を促進します。(商工振興課)

まちづくり三法<sup>22</sup>を踏まえ、長野市商業環境形成指針の適切な運用により、大型店の出店・増床に対する本市の土地利用や地域づくりとの整合を図ります。(商工振興課)



## 5-5 人材の育成と雇用機会の確保

### 基本施策 5-5-1 安定した地域雇用の確保

		主担当	産業振興部
551	働きたい人が適性に応じて仕事に就くことができ、いきいきと働き続け、安定した社会生活を送ることができる環境を目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
若者や女性、中・高年齢者が仕事につきやすい環境がある			

#### 現況と課題

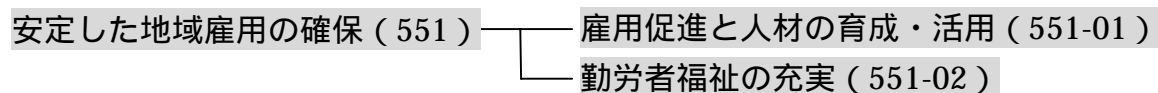
ニートやフリーターの増加が社会問題化しており、新卒者を含む若年者の職業意識を養い、雇用を向上するための取組が必要です。

中・高年齢者、子育て中または子育て後の女性、障害者などが安定した仕事に就きにくい状況にあり、これらの人たちの雇用機会拡大に向けた取組が求められています。

#### 図表

(有効求人倍率の推移)

#### 施策の体系



施 策		主担当	産業政策課
551-01	雇用促進と人材の育成・活用		
施策の目標	就業の相談・支援体制の強化、技能や技術の活用などにより、女性や若年者、高齢者などが各自の適性に応じた仕事に就きやすい環境を目指します。		
指 標 項 目		現状値	目標値 (H23)
若年者インターンシップ制度利用日数		25人 (H18見込み)	50人

### 【主な取組】

若年者を対象とするインターンシップ<sup>23</sup>制度の実施などにより、ニート<sup>24</sup>、フリーター<sup>25</sup>、新卒者の職業意識の形成と就職を支援します。(産業政策課)

職業相談の実施などにより、高齢者の就業機会拡大を支援するとともに、団塊の世代など経験豊富な人材の活用や技術継承を促進します。(産業政策課)

男女共同参画に基づく女性の就業機会拡大を支援します。また、事業所への啓発等を通じ、子育て世代の親が仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めます。(産業政策課、男女共同参画推進課、児童福祉課、施策 111-01・152-02 関連)

障害者の働きやすい環境づくりや事業所への啓発などを通じ、障害者雇用の促進を図ります。(産業政策課、障害福祉課、施策 131-02 関連)

地域雇用の安定化に向け、雇用の受け皿となる企業立地を推進します。(商工振興課)

施 策		主担当	産業政策課
551-02	勤労者福祉の充実		
施策の目標	関係機関と連携した労働環境の改善や、中小企業の福利厚生への支援、研修機会の提供などにより、勤労者がいきいきと働ける環境を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
勤労者福祉施設の年間利用者数		50,571人	50,000人

### 【主な取組】

中小企業の勤労者や中高年齢労働者向けの福祉施設を活用し、自己啓発や教養講座など福利厚生への場と機会を提供します。(産業政策課)

生活資金融資や中小企業の共済等の奨励などを通じ、勤労者の生活向上と福祉の増進を支援します。(産業政策課)

## 6-1 いきいきと暮らせるまちづくりの推進

## 基本施策

## 6-1-1 コンパクトなまちづくりの推進

主担当

都市整備部

611	多機能で魅力ある中心市街地の再生を図るとともに、身近な生活圏を中心とした拠点地域づくりとそれらを公共交通ネットワーク等で結び、相互に機能分担するコンパクトで暮らしやすいまちを目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている。			

現況と課題

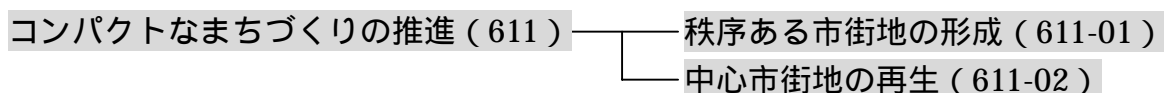
人口減少や高齢化社会の進行など、社会の構造的な変化に対応するため、開発型から保全型への土地利用の転換が求められており、公共交通網や道路整備と連携したコンパクトで機能的なまちづくりが必要です。

中心市街地の衰退・空洞化が進み、活力や求心力が低下しており、多様な都市機能を集積し、まちなかの暮らしと賑わいを再生する必要があります。

図表

(土地区画整理事業施行済地区数及び面積 (累計))

(中心市街地 (長野銀座) の歩行者通行量)

施策の体系

施 策		主担当	都市計画課
611-01	秩序ある市街地の形成		
施策の目標	地域特性をいかした身近な生活圏の形成や合理的な土地利用の推進により、外延的な市街地の拡大を抑制し、コンパクトで機能的なまちを目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
市街地再開発事業実施地区面積 (累計)		3.04 ha	6.89 ha
土地区画整理事業施行済面積 (累計)		738 ha	792.9 ha

### 【主な取組】

都市計画マスタープラン<sup>1</sup>に基づき、区域区分(線引き)<sup>2</sup>による計画的な規制・誘導を図ります。(都市計画課、区画整理課)

自然環境や農地を保全しながら、市街地の合理的な土地の利活用を推進します。(都市計画課)

鉄道駅・学校・行政支所などの拠点機能を中心に、地域の特性をいかしながら、歩いて暮らせるまちづくりを推進します。(都市計画課)

公共施設や住宅など、既存の社会資本を有効に活用するまちづくりを推進します。(都市計画課)

密集市街地での家屋の建替えや狭あい道路の整備など、市街地の防災性を高めながら、既存市街地の再整備・再活用を推進します。(都市計画課、区画整理課、まちづくり推進課 施策 311-01 関連)

施 策		主担当	まちづくり推進課
611-02	中心市街地の再生		
施策の目標	中心市街地の都市整備を推進し、まちなか居住の促進、散策・回遊できる街並みの形成を図り、人々が交流し、歩いて楽しめる中心市街地を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
中心市街地の歩行者通行量 (長野銀座)		22,852 人	32,000 人
中心市街地 (長野地区) に居住する人口		22,003 人	23,000 人
中心市街地交流拠点施設の年間利用者数		233,734 人	337,000 人

### 【主な取組】(各取組とも施策 541-01 関連)

市民・商業者・地権者・関係団体等との協働<sup>3</sup>・支援による中心市街地再生の取組や

主体的に街づくり活動に取り組む人材の育成を推進します。(まちづくり推進課)

長野地区中心市街地については、交流拠点としての整備を進め、多様な都市機能を集積するとともに、低・未利用地<sup>4</sup>を利活用し、街の再生を推進します。また、長野駅東口の土地区画整理事業に継続して取り組みます。(まちづくり推進課、駅周辺整備局)

通過交通を抑制し、市街地交通の円滑化を図るとともに、中心市街地の来街者の受け皿となる駐車場の整備を推進します。(都市計画課)

小路・路地の再生やまちなかの緑・水路を活用した散策・回遊できる街並みを形成するとともに、中央通りの歩行者優先道路化を推進します。(まちづくり推進課、都市計画課 施策 233-01、233-02 関連)

景観に配慮した住宅等の供給や商業・業務施設の立地を促し、まちなか居住を促進するとともに、希薄になっているコミュニティ<sup>5</sup>の再生を図ります。(まちづくり推進課、住宅課)

篠ノ井地区及び松代地区中心市街地については、拠点地域として生活や歴史・文化に根ざしたまちづくりを推進します。(まちづくり推進課)

**基本施策****6-1-2 快適に暮らせるまちづくりの推進**

主担当

建設部

612	公共施設等のユニバーサルデザイン化や快適な住環境の整備により、暮らしやすいまちづくりを推進し、住み続けたくなるまちを目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
公共施設や歩道は、すべての人にやさしく、暮らしやすいづくりとなっている。			

**現況と課題**

高齢者・障害者・子ども連れ等、だれもが安心して行動できるまちづくりが求められており、すべての人が使いやすい公共施設等を整備する必要があります。

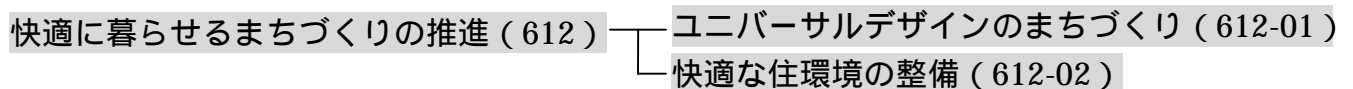
住宅に対するニーズが多様化する中、くつろぎや豊かさを実感し、だれもが安心して住める住宅を普及促進していく必要があります。

公営住宅については、安全性を確保するとともに、老朽化した既存住宅の居住水準の向上を図る必要があります。

**図表**

(道路の交差点における歩車道の段差解消箇所数(累計)の推移)

(公営住宅戸数の推移)

**施策の体系**

施 策		主担当	建築指導課
612-01	ユニバーサルデザインのまちづくり		
施策の目標	ユニバーサルデザインを取り入れた公共施設の整備を推進するとともに、不特定多数の人が利用する民間建築物等への指導・誘導を図り、だれもが安心して暮らせる環境を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
道路の交差点における歩車道の段差解消箇所数 (累計)		97 箇所	217 箇所
民間建築物等への整備指導件数 (累計)		863 件	1,337 件

**【主な取組】**(各取組とも施策 131-01 関連)

すべての人が使いやすいユニバーサルデザイン<sup>6</sup>を取り入れた公共建築物の整備を進めるとともに、民間建築物等への指導によるバリアフリー化<sup>7</sup>を推進します。

(建築指導課、建築課)

道路交差点における歩車道の段差解消やゆとりある歩道幅員を確保できるよう既存歩道の改修を推進します。(道路課、施策 321-01 関連)

施 策		主担当	住宅課
612-02	快適な住環境の整備		
施策の目標	建築協定や地区計画等による市民主体のまちづくりの支援や、住まいに関する情報の提供や相談体制の充実を図り、だれもが快適に暮らせる環境を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
住宅に関する年間延べ相談件数		95 件	144 件
建築協定及び地区計画数 (累計)		21 件	28 件

**【主な取組】**

中高層建築物等の建築主に適正な指導を行い、日照や電波障害等の居住環境に関するトラブルの防止に努めます。(建築指導課)

建築協定<sup>8</sup>や地区計画<sup>9</sup>等による市民主体のまちづくりを支援し、良好な住環境の整備を促進します。(建築指導課)

旧構造基準の木造住宅等に対する耐震診断や耐震補強の支援を行い、震災に備えた耐震対策を推進します。(建築指導課、施策 311-01 関連)

住宅総合相談窓口を設置し、市民の不安を解消するような住宅関連情報を提供します。(住宅課)

社会ニーズに対応した公営住宅の統廃合と改修を推進します。(住宅課)

日常生活の利便性向上のため、地域住民の合意を得ながら、既成市街地及び土地区画整理実施区域等での住居表示を推進します。(庶務課)

**基本施策****6-1-3 良好な景観の形成**

主担当

都市整備部

613	歴史や文化に育まれた建造物等を保存しながら、恵まれた自然環境と調和する、潤いと個性ある景観を形成し、市民が誇りと愛着を感じられるまちづくりを目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている。		

**現況と課題**

幹線道路沿いなど郊外を中心に景観を阻害する建築物や屋外広告物等が乱立しており、自然に調和した良好な景観を誘導する必要があります。

善光寺や松代など、歴史と文化に培われた落ち着いた景観や街並みに恵まれており、それらをいかした景観づくりを進める必要があります。

**図表**

( 景観形成市民団体の認定数の推移 ( 累計 ) )

( 景観重要建築物の指定数の推移 ( 累計 ) )

**施策の体系**

良好な景観の形成 ( 613 )

良好な景観の誘導 ( 613-01 )

伝統的な景観の保全と形成 ( 613-02 )



施 策

主担当

まちづくり推進課

613-01	良好な景観への誘導		
施策の目標	市民や事業者の景観意識の高揚を図るとともに、豊かな自然環境や眺望に配慮した、良好な景観形成の誘導を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
景観形成市民団体の認定数 (累計)		6 団体	8 団体

**【主な取組】**

各地区の特色に配慮した景観形成基準により、屋外広告物景観形成のための規制及び指導・誘導を図ります。(まちづくり推進課)

水や緑を活用するなどの優れた景観の形成に寄与している建築物等に対する表彰やフォーラム等のイベントの開催等を通じ、市民、事業者の景観に関する意識の高揚と創造への誘導を図ります。(まちづくり推進課、施策 233-01、233-02 関連)

山や河川等も景観資源として捉え、自然環境に調和し、地区ごとの特色をいかした景観の誘導を図ります。(まちづくり推進課、施策 212-01 関連)

景観形成に積極的に取り組む団体を景観形成市民団体として認定し、活動を支援します。(まちづくり推進課)

施 策

主担当

まちづくり推進課

613-02	伝統的な景観の保全と形成		
施策の目標	地域の特色をいかした歴史ある街並みの保全・整備により、伝統と文化を感じられる景観の形成を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
景観重要建築物 <sup>10</sup> の指定数 (累計)		5 件	9 件
街並み環境整備事業 <sup>11</sup> の進捗率		6.4%	100%

**【主な取組】**

善光寺周辺や松代の歴史的街並み景観を整備し、門前町や城下町として長野の歴史ある街並みを保全します。(まちづくり推進課)

各地区にふさわしい景観の保全と形成のために重要となる地域や建物等の指定と保存を推進します。(まちづくり推進課、施策 431-02 関連)

## 6-2 まちを結ぶ快適なネットワークの形成

### 基本施策 6-2-1 交通体系の整備

主担当

企画政策部

621	市民・地域・事業者・関係団体・行政が一体となった交通体系の整備を推進し、交通環境の円滑化を図り、市民・観光客が快適に市内を移動できる公共交通が充実したまちを目指します。		
	指 標 項 目	現状値（H18）	目標値（H23）
利用しやすい公共交通機関が整備されている。			

#### 現況と課題

市民にとって、公共交通は重要な役割を担っており、だれもが利用しやすい移動手段としていくことが必要です。

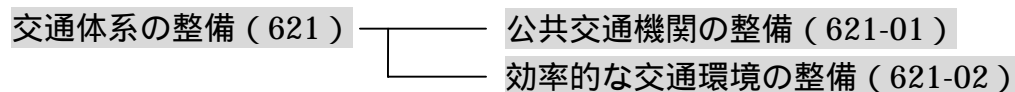
マイカー依存社会が進展し、公共交通機関の利用者が減少している中、環境負荷の軽減や交通渋滞を緩和するため、公共交通や自転車の利用促進を図る必要があります。

#### 図表

（鉄道及び路線バス乗車人員の推移）

（市街地への1日当たりの流入乗用車両数の推移）

#### 施策の体系



施 策		主担当	交通政策課
621-01	公共交通機関の整備		
施策の目標	地域や市民ニーズに合った公共交通システムの構築を図り、快適で利用しやすい移動手段の確保を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
市内路線バスの年間利用者数		1,000 万人	1,011 万人

### 【主な取組】

地域内循環コミュニティバス<sup>12</sup>やデマンドタクシー<sup>13</sup>等の導入により、地域の特性や移動需要に見合った輸送手段を確保・充実します。(交通政策課)

市民の移動手段を確保するため、新規バス路線の新設及び既存路線の充実と維持を図ります。また、バス路線の無い地域については、地域が主体となって運行するバス交通を検討します。(交通政策課)

北陸新幹線長野以北の建設促進と並行在来線の存続運行の実現を目指します。(交通政策課)

鉄道事業者が進める設備整備を支援し、鉄道輸送の利便性の向上や安全性を確保します。(交通政策課)

施 策		主担当	交通政策課
621-02	効率的な交通環境の整備		
施策の目標	効果的な交通需要マネジメント施策等の導入により、様々な交通手段が円滑に機能し、誰もが効率的に移動できる交通環境の整備を目指します。		
指 標 項 目		現状値 (H17)	目標値 (H23)
市街地への1日当たりの流入乗用車両数		30,585 台	29,800 台
一人乗りマイカー率		79.2%	77%

### 【主な取組】

パークアンドライドシステム<sup>14</sup>等の交通需要マネジメント施策<sup>15</sup>の導入を推進し、マイカーから公共交通機関への乗換えを促進し、交通渋滞の緩和を図ります。(交通政策課)

バス相互の乗継ぎやバス路線と鉄道など、公共交通機関のネットワーク化を図ります。(交通政策課)

バス・ロケーションシステム<sup>16</sup>の検討や一律運賃制の導入などにより、バス交通の利便性の向上に努めます。(交通政策課)

駅周辺などに自動車・自転車駐車場を整備し、公共交通機関への乗換えを促進します。また、自転車道のネットワーク化についての調査・検討を進め、自転車利用の促進や啓発に努めます。(交通政策課、施策 321-01 関連)

**基本施策****6-2-2 道路網の整備**

主担当

建設部

622	都市機能や市民生活を支える体系的な道路ネットワークを形成し、地域間の交流・連携を深めるとともに、市民に身近な生活道路の整備・改善を図り、歩行者や車が安全で円滑に移動できるまちを目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
日常生活において、使いやすい道路が整備されている。			

**現況と課題**

市街地への流入部及び市街地内を中心に渋滞が発生しており、広域道路網や橋梁の整備・改善を図るとともに、公共交通を考慮した道路整備を進める必要があります。

生活道路においては、幅員が狭く生活に支障をきたしているところがあり、安全で安心して通行できる道路整備を進める必要があります。

**図表**

(市内道路延長及び舗装率の推移(国道・県道・市道))

**施策の体系**

施 策		主担当	道路課
622-01	広域道路網の整備		
施策の目標	広域幹線道路をはじめ、市内の幹線道路網を体系的に整備することにより、円滑な道路ネットワークの確立を目指します。		
指 標 項 目		現状値（H17）	目標値（H23）
都市計画道路の整備率		51.7%	54%

### 【主な取組】

外環状道路である東外環状線、北部幹線の継続的整備をはじめ、市内外を円滑に結ぶ広域幹線道路を整備します。（道路課、都市計画課）

中心市街地と周辺の生活拠点や観光拠点を機能的に結ぶ道路ネットワークを改善・強化します。（道路課、都市計画課）

市街地の移動性を高める幹線道路を計画的・重点的に整備するとともに、公共交通の走行円滑化や利便性の向上と一体化した道路整備を推進します。（道路課、都市計画課）

交通渋滞の要因の一つとなる橋梁の架け替え等を促進するとともに、計画的に安全点検を実施し、安全性の向上を図ります。（道路課、維持課 施策 311-01 関連）

施 策		主担当	道路課
622-02	生活道路の整備		
施策の目標	生活道路の拡幅改良等の整備を図り、日常生活を支え、安全で安心して利用できる道路環境を目指します。		
指 標 項 目		現状値（H17）	目標値（H23）
生活道路の整備延長（市道）		1,763 km	1,797 km
歩道の整備延長（市道）		280 km	290 km

### 【主な取組】

日常生活に欠かせない生活道路の拡幅改良や建築基準法に基づく狭あい道路の後退用地を、住民の合意形成を図りながら効果的に整備します。（道路課、建築指導課）  
自転車歩行者道の整備を推進し、歩行者及び自転車交通の安全を確保します。（道路課、施策 321-01 関連）

623	日常生活の中で、だれもが情報通信技術の利便性を受けられることができる環境を整備し、高度情報化に適応したまちを目指します。		
	指 標 項 目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている。		

### 現況と課題

情報通信技術が飛躍的に進歩している中、その利便性をだれもが等しく受けられることができる環境を整備する必要があります。

インターネットによる犯罪やプライバシーの侵害等が社会問題になっており、情報に対する正しい理解と認識を深めるとともに、情報セキュリティの確保に努める必要があります。

### 図表

(フルネットセンター入館者数の推移)

(長野市公式ホームページの年間アクセス件数の推移)

### 施策の体系

高度情報化の推進 (623) —— 情報通信基盤の整備 (623-01)

施 策		主担当	情報政策課
623-01	情報通信基盤の整備		
施策の目標	地域の情報格差の解消や市民の情報活用能力の向上を図り、日常生活の中でだれもが情報通信技術の利便性を等しく受けることができる環境を目指します。		
指 標 項 目		現状値（H17）	目標値（H23）
長野市公式ホームページのトップ・ページへの年間アクセス件数		136 万件	200 万件

**【主な取組】**

市内全域で高速インターネットなどの情報通信サービスを受けることができる情報通信基盤の整備を促進し、市民や企業等、地域を対象とした情報の高度化を図ります。（情報政策課）

フルネットセンターを拠点に情報通信技術講習会等を積極的に開催し、市民の情報活用能力の向上を図ります。（情報政策課、施策 421-01 関連）

高度情報化の進展に対応した個人情報保護と情報セキュリティー対策を推進します。（情報政策課）

電子市役所<sup>17</sup>の構築を推進し、情報通信技術を活用した行政サービスの高度化を図ります。（情報政策課、施策 051-01 関連）